

社会運動資料センター事業 実施報告書

1. 事業目的と事業概要

- 《目的》 社会運動に関係する資料収集・研究および企画展・セミナーの開催、定期刊行物の購入とその閲覧を行う。
- 《対象》 一般の方誰でも可とした。
- 《期間》 4月1日から3月31日まで。
- 《財源》 自主財源から拠出した。
- 《資産》 ヒューマンわーくぴあ徳島
- 《人員》 専従職員および臨時職員が従事する。
- 《案内》 チラシを作成して館内に掲示し、ホームページに告知掲載した。
- 《内容》 収集した資料は室内に展示し、閲覧可能とした。NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会などと連携して、社会運動資料センターの運営委員会を設置し、センターの運営や資料の選別については専門家の助言を得て行った。セミナーの講師には専門家を選任した。

2. 運営委員会の設置について

◇第2回運営委員会

◇日時 2015年6月18日(金)18:00～

◇場所 ヒューマンわーくぴあ徳島 305号室

◇参加者 久積(ネットワーク)、田辺(賀川豊彦記念館)、富永(平和センター)、中野(自治研)、森本(連合徳島)、川越(全労済)、林(労福協)、辻(支援機構)、乾(女性研究所)、東條(ストップDV)、齒朶山加代(解放同盟)、福本、佐伯(以上、事務局)

◇第3回運営委員会

◇日時 2015年9月30日(水)18:00～

◇場所 ヒューマンわーくぴあ徳島 302号室

◇参加者 藤原(労働会館)、久積(ネットワーク)、田辺(賀川豊彦記念館)、富永(平和センター)、中野(自治研)、森本(連合徳島)、川越(全労済)、林(労福協)、辻(支援機構)、乾(女性研究所)、東條(ストップDV)、齒朶山加代(解放同盟)、福本、佐伯(以上、事務局)

◇第4回運営委員会

◇日時 2015年12月3日(木)18:00～

◇場所 ヒューマンわーくぴあ徳島 302号室

◇参加者 久積(ネットワーク)、田辺(賀川豊彦記念館)、富永(平和センター)、中野(自

治研)、森本(連合徳島)、川越(全労済)、林(労福協)、辻(支援機構)、乾(女性研究所)、東條(ストップDV)、齒朶山(解放同盟)
江口(森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会)
藤原(労働会館)、福本、佐伯(以上、事務局)

3. とくしま社会運動資料センター閲覧室について

◇開所日 火曜日から土曜日まで 午前10:00から午後3:00まで

◇閉所日 日曜日および月曜日 国民の祝日、お盆期間、年末年始ほか

◇資料センターの業務

- (1)資料の収集と保全
- (2)定期刊行物の収集・購入と閲覧
- (3)公開講座・セミナーの開催
- (4)企画展の開催
- (5)社会運動に関する調査・研究
- (6)研究会の開催
- (7)社会運動関係団体との連携並びに協力・協働
- (8)その他、目的達成に必要な事項

◇閲覧 書籍、雑誌など約10,000冊の所蔵のうち約1,200冊を閲覧用として書架に並べています。

◇資料を探す 検索コーナーのパソコン端末にて、データベース検索が可能です。ただし図書ID登録済みの書籍・資料に限ります。国立国会図書館サーチで検索したり、また電子書籍の閲覧などにも利用できます。

◇資料の貸出 現在のところ、所有蔵書の一部しか整理・データベース化されておられません。準備が整い次第、貸出業務を行う予定です。

◇資料のコピー 資料の貸出と同様、準備が整い次第、コピー業務を行う予定です。コピー代は無料です。

◇視聴 所蔵DVDの視聴などに利用できます。

4. 公開講座と企画展について

第3回公開講座『輝いた阿波の女性たちⅡ』-報告- 2015.7.18

とくしま社会運動資料センターの第3回公開講座が、7月18日(土)、ヒューマンワークぴあ徳島5F大ホールにて開催されました。今回は徳島における女性運動の歴史を学ぶ『輝いた阿波の女性たち』と題した連続講座の第2回目であり、講師は元



参議院議員でAWA女性研究所代表の乾晴美氏が務め、約2時間の講義に60名の方が参加しました。

冒頭、社会運動資料センターの久積センター長より、「前回参加された方はテキスト『徳島県女性協議会 20年史』をお持ちのことと思います。今日も乾節が聞けるかと思しますので、皆さん、しっかりと勉強しましょう」と挨拶があり、続けて講座に移りました。

今回の講座は、既に他界された方で徳島の女性史に於いて草分けとなった5人の人物列伝です。考古学者鳥居龍蔵の妻として知られ「男女共生の先駆」と言われた鳥居きみ子、茶道家であり



戦後の婦人活動の原動力となった坂口あさ、教育者として「教え子を再び戦場に送るな!!」の信条を貫き四国の民主教育のリーダー的存在であった坂尾茂子、終戦直後サトウハチローが改作したことで知られる国民歌『お山の杉の子』の原作者であり童謡作家の吉田テフ子、そして昭和21年4月10日戦後初の衆議院選挙に立候補して日本初の女性議員39名の中にその名を刻んだ紅露みつ。以上

の方々について、徳島の女性史において未だ色褪せることのない功績を学びました。

途中、乾講師の教職時代の同僚であった藤岡哲夫さんの生ギター演奏があり、吉田テフ子作「お山の杉の子」など軽快なトークを交えながら数曲が披露されました。

最後に、社会運動資料センター運営委員であり今回の司会進行を務めた東條恭子さんから「今日は女性の地位向上に生涯をかけて取り組んだ方たちを紹介していただきました。もっともっと乾先生の話を知りたいです。」と締めくくりの挨拶がありました。



第4回公開講座『輝いた阿波の女性たちⅢ』-報告- 2015.10.3

一般社団法人徳島県労働福祉会館が運営する、とくしま社会運動資料センターの第4回公開講座が、10月3日(土)ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホールにて開催されました。今回は『輝いた阿波の女性たち』と題した連続講座の3回目。講師は元参議院議員でAWA女性研究所代表の乾晴美氏が務め、約2時間の講義に75名の方が参加しました。また聴覚障害者のための要約筆記を行うNPO法人「文字情報支援ひこばえ」から3名の方が来られ、本講座の音声内容をノートパソコンに文字情報としての記録入力を行いました。

冒頭、労働福祉会館の藤原理事長より「今、朝のNHK連続テレビ小説で、日本最初の女子大学を設立した実在人物・広岡浅子さんをモデルとした『あさが来た』が放映されています。ドラマは封建制が色濃く残った幕末期から描かれております。広岡浅子は、明治期にかけて実業家として活躍すると同時に、女子教育の発展に奔走した人物であります。また先に放映された『花子とアン』

では村岡花子さんの半生が描かれ、その中には女性の参政権を訴えた市川房枝さんも登場します。女性運動家を取り上げた今回の講座は、このような時期に相応しいものであると考えます。」と挨拶がありました。

今回の講座は、現在活躍中の女性運動家9名をゲストに迎え、乾講師がコーディネーター役となり、一人一人に生い立ち秘話から人生の転換期、そして女性運動・市民運動にかける思いを語って頂きました。乾講師を含めて10名の皆さん総じて、両親や家族の理解と協力があった点、ご自身の経験則も踏まえて学校教育や社会教育の大切さを説かれていた点が共通していました。

最後に、久積センター長より、「資料センターにて今回の連続3回の講座内容を取りまとめ、次の世代へと繋ぐ本を作ること、また、次回講座では徳島が発端となった森永ヒ素ミルク事件を取り上げること、そして徳島県内の労働運動、社会運動の貴重な資料を収集して次の世代へ遺すこと、これらが資料センターの使命であることを皆さんにお伝えしたいと思います。」と締めくくりの挨拶がありました。



出演者プロフィール

原 孝枝	白うめ幼稚園理事長／徳島県女性協議会元会長
磯田 正江	徳島県退職女性教職員協議会前会長／徳島県女性協議会元会長
竹内 菊世	徳島ペンクラブ会長
河野南代子	女性と子どもの人権を守る「エンゼルランプ」副代表
野尻 許子	日本網膜色素変性症協会徳島支部長
齒朶山加代	部落解放同盟徳島県連合会書記長
高開千代子	アイ女性会議徳島県本部事務局長
東條 恭子	ストップDV・サポートの会代表
高井 美穂	元衆議院議員／徳島県議会議員
乾 晴美	元参議院議員／AWA女性研究所代表

9月28日(月)から10月9日(金)までの間、ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホールにて特別企画『賀川豊彦と吉野作造』を行いました。労働福祉会館の関係団体をはじめ、任意団体やNPO法人の代表の方など、一般来館者を含めて延べ95名の方が訪れました。

今回展示した写真パネルは、賀川豊彦記念松沢資料館より提供して頂きました。その元出典は賀川豊彦記念松沢資料館のほか、学校法人東北学院、吉野作造記念館、公益財団法人東京大学 YMCA 寮、社会福祉法人賛育会、日本基督教団陸前古川教会となっています。



第5、6回公開講座及び第4回パネル展 - 報告 -

とくしま社会運動資料センターの第5、6回公開講座および第4回パネル展が開催されました。

森永乳業徳島工場に端を発し、1万3千人余の乳幼児に被害をもたらし、当時だけでも130人が死亡するという世界に類のない食品公害事件「森永ヒ素ミルク中毒事件」。事件から60年経った今も、712人が障害や後遺症に苦しんでいます。食の安全が問われる昨今において事件を風化させないためにも、今回はこの事件をテーマとして採り上げることとしました。

講師には、元公立学校教諭であり「被害者を守る会」の全国常任理事をされている江口哲生さんを招き、被害者の救済活動さらには食品事件の根絶へ向けた次世代へのメッセージを連続2回の講座にて語って頂きました。

講座内容については、江口さんが作成した詳細なレジュメ資料を本紙に附してありますので、そちらをご参照ください。

閉会に際し久積センター長から「世界に類を見ない凄惨な事件であり、市民の目線から起こった運動、取り組みとしても類の無いものでありました。この教訓を生かすのが私たちの使命であります」と締めくくりの挨拶がありました。

第5回公開講座 2016.2.9

- ☆日 時 2016年2月9日(火)18:00～20:00
☆場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール
☆参 加 45名
☆講 師 江口哲生氏(森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会 全国本部常任理事/徳島県本部委員長)
☆テーマ 『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動、食の安全に関することパートⅠ』
1. DVD 視聴 しこく戦後70年「森永ひ素ミルク中毒事件 被害者家族の60年」
 2. 第1期 1955(昭和30)年～1969(昭和44)年
 3. 第2期 1969(昭和44)年～1974(昭和49)年



第6回公開講座 2016.3.8

- ☆日 時 2016年3月8日(火)18:00～20:00
☆場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール
☆参 加 50名
☆講 師 江口哲生氏(森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会 全国本部常任理事/徳島県本部委員長)
☆テーマ 『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動、食の安全に関することパートⅡ』
1. DVD 視聴 『「森永ひ素ミルク事件」事件発生から60年』
 2. 第3期 1974(昭和49)年～現在



☆日 時 2016年2月8日(月)～2月16日(火)10:00～15:00
 ※9日(火)、11日(木)は休み

☆場 所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

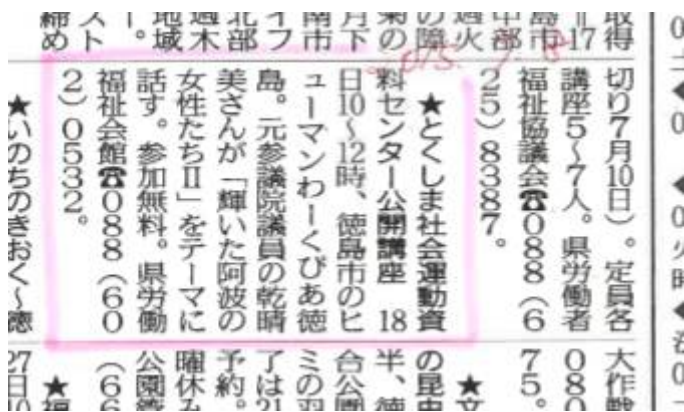
☆参 加 60名

☆テーマ 展示パネルは、「森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会 岡山県本部」様より、提供して頂きました。2014年10月に岡山市立中央公民館にて開催されたパネル『60周年記念行事ー親たちの思いを受け継いでー』にて展示された写真・資料です。



5. 周知広報

○徳島新聞に告知掲載



381。

ハ 造「賀川豊彦と吉野作
造」パネル展 28日～10
月9日10～15時、徳島市
のヒューマンわくびあ
館。とくしま社会運動
資料センターの特別企画
展。キリスト者としての
博愛精神に基づき、人々
が互いに協力して生活を
守っていく社会の実現を

目指した香川豊彦と吉野
作の活動を紹介する。
入場無料。県労働福祉
会館 ☎088(602)0
532。

★元気になるう会 28
日10～11時半、阿南市の
橋公民館。気と呼吸法を
中心に、心身ともに健康
で長生きするための方法
を学ぶ。動きやすい服

学ぶ

装。ハ 1 ミ、半、て、節、の、る、ど、保、乳、象。

屋ッ縦費途ん 2 講白市ラ以対

★とくしま社会運動資
料センター公開講座 10
月3日10～12時、徳島市
のヒューマンわくびあ
館。「輝いた阿波の女
性たちⅢ」と題してAW
A女性研究所代表の乾晴
美さんが話す。10人の女
性運動家をゲストに迎え
る。参加無料。県労働福
祉会館 ☎088(60
2)0532。

★山と木と緑のフェア

ク、約、(6、★、い、も、14、ケ、の、時、い、取、持、参、(持、定、日、)

★公開講座「森永ひ素
ミルク中毒事件の被害者
救済活動、食の安全に関
する事」 9日18～20
時、徳島市の県労働福祉
会館。森永ひ素ミルク中
毒事件について、元公立
学校教諭であり「被害者
を守る会」全国常任理事
の江口哲生さんが話す。
参加無料。とくしま社会
運動資料センター事務局
☎088(602)05
32。

会、の、坊、々、木、さ、ん、☎、2、0、9、0、(、5、1、4、3、) 4、5、3、9、。

相談ダイヤル

14日
14日
200
セン

2016年(平成28年)2月7日 日曜日

きょう・あす

見る

★眞野孝彦、日岡美智代二人展 7~28日10~17時(最終日は15時まで)、阿波市土成町の道の駅となり。人物画、風景画などの油絵10点を展示する。入場無料。月曜休み。同所☎088(695)5405。

★パネル展「森永ひ素ミルク中毒事件―親たちの思いを受け継いで」 8~16日10~15時、徳島市の県労働福祉会館。森永ひ素ミルク事件を風化させないために被害者を守る会の活動を紹介する。入場無料。とくしま

社会運動資料センター事務局☎088(602)0532。

楽しむ

★Februaryダンスパーティー 7日18~23時、徳島市西船場町のダンスアベニュー。社交ダンスを楽しむ。参加費千円(1ドリンク、菓子付き)。同所☎088(622)9429。

ただいま開催中

★幸里繁文化刺しゅう作 18時、海陽町四方原の町化刺しゅう愛好家の幸里さしが制作したトラや聖観音展示。入場無料。月曜休館(73)3591。

2016年(平成28年)3月7日 月曜日

きょう・あす

聞く

★社交ダンスパーティー 1月例会 8日19時半~21時半、阿南市の富岡公民館。社交ダンスを楽しむ。会費500円(飲み物、菓子付き)。ファンダンスサークルの岡崎さん☎090(8525)9984。

見る

★公開講座「森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動、食の安全に関すること」 8日18~20時、徳島市の県労働福祉会館。森永ひ素ミルク中毒事件について、元公立学校教諭で「被害者を守る会」全国常任理事の江口哲生さんが話す。無料。大岸さん☎0883(24)5712。

★アトリエ翔 日本画 日まで9~15時、吉野川市鴨島町の阿波銀行鴨島支店。写真表現による人物画12点を展示。入場無料。大岸さん☎0883(24)5712。

ただいま開催中

★読書会 8日18~21時、小松島市小松島町の本と文具の店「キタフン」。高神覚吾著「般若心経講義」を読む。テキストあり。参加無料。貴田さん☎0885(32)3123。

★古文書が語る神山の歴史 4月24日まで 9時半~17時、徳島市の県立文書館。神山の庄屋の家に残された古文書を通して、地域の江戸時代から明治初期にかけての歴史の一端を紹介。「阿波備前図」(名西郷図)など33点。入館無料。同館☎088(668)3700。月曜休館。

3

7月 8火 9水 10★

力体館★ 半力体館★ 10 家産 気に 料に 8) 子B

○チラシの作成・配布



○ホームページに告知掲載

<http://workpia-tokushima.jp/>

WHAT'S NEW 内

6. 機関誌の作成

<http://workpia-tokushima.jp/>

WHAT'S NEW 内(資料センター通信)

7. その他

○徳島新聞の取材記事

乳児130人が死亡した森永ヒ素ミルク中毒事件を風化させまいと、とくしま社会運動資料センター（徳島市昭和町3）が8日、被害者を招いて

公開講座を開く。徳島で発生した大規模な食中毒事件を次世代に継承するとともに、食の安全安心をあらためて考えてもらう。

「ヒ素ミルク」風化防げ

60年前発生の大規模食中毒

事件は1955年、石井町の森永乳業徳島工場で生産された粉ミルクにヒ素が混入したことで起きた。ミルクを飲んだ乳児は高熱や激しい下痢などに見舞われ、全国で約1万3千人、県内では456人に被害が出た。世代が下がるにつれて事件の認知度が低くなってきていることや被害者が高齢化していることから、風化に危機感を抱いたセンターが県民に広く知ってもらう場を設けることにした。近年は全国で産地偽装や異物混入事件が相次いでおり、食の安全安心について理解を深めてもらうのも狙い

あす徳島市 被害者招き講座



公開講座の準備を進める藤原理事長と江口委員長。徳島市の県労働福祉会館別館

だ。講座では、事件の概

要を紹介するDVDを動や被害者の現状など視聴した後、「森永ヒ素ミルク中毒の被害者を守る会（本部）」の委員長で、自身も被害に遭った江口哲生さん（61）＝鳴門市大麻町大谷＝が事件後の救済活動。センターの取り組みは非常にありがたく、守る会としても風化を防ぐために積極的に動きたい」と話している。

センターは、14年10月に県労働福祉会館が社会運動の資料収集などを目的に設立した。会館の藤原学理事長（64）は「食の安全に関わる原点の事件であり、決して忘れてはならない」正力を入れている。8日午後6～8時に徳島市昭和町3の県労働福祉会館別館で。参加無料。問い合わせはセンター事務局（電話088（602）0532）。（矢田論史）

するの。街のにぎわいは取り戻せるのか」と事業に疑問を呈した。

これに対し、前山祐一都市整備部長は「転出する地権者の多くは

地区の再生を強く望んでいる。高齢で商売の後継きもないことから、新たな担い手に再生を委ねようと決断した」と述べた。

(竹内仁志)

「悲惨さの発信重要」

ヒ素ミルク中毒事件

被害者が講座 徳島市

森永ヒ素ミルク中毒事件を通して食の安全安心を考える公開講座(とくしま社会運動資料センター主催)が8日夜、徳島市昭和町3の県労働福祉会館別館で開かれ、約50人が参加した。

「森永ヒ素ミルク中毒の被害者を守る会県本部」の委員長で、自身も被害に遭った江口哲生さん(61)＝鳴門市大麻町大谷＝が、1955年に石井町の森永乳業徳島工場で粉ミルクにヒ素が混入したこ

とに端を発した事件の救済活動を紹介した後、今後の支援の在り方や風化を防ぐための取り組みについて語った。

高齢化が進む被害者の健康づくり活動などを通して積極的に交流の場を設ける必要性があると指摘し「事件の悲惨さを発信し続ける

ことが重要。企業が食の安全安心を第一とするよう、強く訴えた」と力を込めた。

参加した松茂町住吉のケアマネジャー村田知江美さん(61)は「二度とあってはならない

事件。次世代に語り継ぐ大切さをあらためて実感した」と話した。

(矢田諭史)



森永ヒ素ミルク中毒事件について話す江口さん＝徳島市の県労働福祉会館別館

徳島で起きた社会運動について学べる公開講座
徳島市昭和町3の県労働福祉会館別館



徳島の社会運動“発掘”

とくしま社会運動資料センター(徳島市)が、徳島県内で起きた社会運動について学ぶ定期公開講座の題材を募っている。徳島になじみのある社会運動を掘り起こし、眠っている資料や証言を教材に取り上げることで、一層の関心を持ってもらうのが狙い。

公開講座は2014年10月のセンター開設以来、計6回開かれ、毎回50〜80人が参加した。森永ヒ素ミルク中毒事件や社会運動家・賀川豊彦(1888〜1960年)などが題材となり、その歴史的背景や社会運動の役割を学んだ。センターは講座の充

資料センター

実や継続性を重視しており、貴重な証言や資料の収集にもつなげるため、県民から広く題材を募ることにした。県内では、吉野川第十堰の可動堰化や那賀川の細川内ダム建設計画を巡る住民運動など、全国の耳目を集めた話題がある。70年代

公開講座の題材募集

後半には阿南市内で原子力発電所の立地計画が持ち上がり、地域を巻き込んだ大きな反対運動が起こった。久積育郎センター長(68)は「まちづくりに発展したケースもあり、社会運動には先人の知恵が詰まっている。今の世に生かせるヒントが学べるはず」と話している。題材の募集は20日まで。問い合わせはセンター(電0888(602)0532)。(矢田諭史)

地域ふれあいフェスタ事業 実施報告書

1. 事業目的と事業概要

- 《目的》 『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、木工教室、切り絵、おもちゃ教室、映画会、ブース出店、絵画の募集と表彰などのイベントを行う。
- 《対象》 一般の方誰でも可とした。
- 《期間》 8月16日
- 《財源》 自主財源から拠出した。
- 《資産》 ヒューマンわーくぴあ徳島
- 《人員》 専従職員および臨時職員が従事した。
- 《案内》 チラシを作成して館内に掲示し、ホームページに告知掲載した。
- 《内容》 ”県内勤労者の拠点”である会館で『支え合い』『家族の絆』等をテーマとした無料参加のフェスタを行うことは、「勤労者の福祉の向上を目的とする事業」に関連すると考えられる。運動方針でもある”地域に開かれた会館づくり”の一環として、無料参加のフェスタを行うことは、「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に関連すると考えられる。
広く一般の方が参加可能とし、無料とした。地域へのチラシ配布、新聞紙面への広告、ホームページに掲載等、広く周知を行った。
それぞれの分野のNPO・ボランティア団体と連携し、木工、絵、おもちゃ教室等を出店した。

2. 各イベントについて

厳しい暑さも一休み、8月16日(日)、ヒューマンわーくぴあ徳島(労働福祉会館別館)にて今年で第2回目となる「2015地域ふれあいフェスタinわーくぴあ」が開催されました。「地域の支え合い」「家族の絆」をテーマに、労働福祉事業団体、NPO・ボランティア団体などの協力のもと様々な子ども向けイベントが行われ、親子連れなど約180名が来場しました。

子どもたちに大人気の木工教室、陶芸教室は、開場直後から予約でいっぱいとなり、スタッフの指導のもと、熱心に木製の小物入れや陶器カップを作っていました。また絵手紙教室や親子撮影会も定員オーバーとなり、各会場は大賑わいでした。玄関フロアでは、クレールによる唐揚げやかき氷、リサイクルショップ a・ya の小物やおもちゃ、いのちの里によるお菓子など、それぞれ販売が行われフェスタの雰囲気を作ってくれました。

そしてメイン会場の5F 大ホールでは「こども映画会」が行われました。上映作品は『怪盗グルー』シリーズのスピノフ映画、『怪盗グルーのミニオン危機一発』。それぞれのイベントを周ってきた親子連れがみんな集まり、時折大きな喚声を上げながら、スクリーンにかじり付くように熱心に見入っていました。4時間があつと言う間に過ぎた夕刻、子どもたちが無事帰途に就くのを待っていたかのように、小雨が降り出しました。



《主な出展団体》

- ・親子陶芸教室 だいやま陶芸村
- ・親子工作教室 フレッセ、壮生
- ・こども映画会 徳島映画センター
- ・絵手紙教室 日本絵手紙協会公認
- ・親子の無料撮影会 出張スタジオ・サークル
- ・出店コーナー Creer、リサイクルショップ a・ya、キノコハウス、ボランティア友の会ひまわり



3. 周知広報

○徳島新聞に告知掲載

あさつて以降・募集

★「2015こみゼロ」阿波踊り作戦ボランティアスタッフとくしま県民活動プラザNPOボランティアおためし体験事業 12月15日17時半～22時半（希望日時で）、徳島市の阿波踊り会場（元町UJ銀行前）。こみ分別ステーションを設置し、来場者にこみの分別回収を呼びかける。参加無料。とくしま県民活動プラザ ☎088（664）8211。

★地域ふれあいフェスタ 16日13～17時、徳島市昭和町のヒューマンわーくびあ徳島。「地域の支え合い」「家族の絆」などをテーマにしたイベントを行う。木工教室や陶芸教室、映画上映会などが楽しめる。参加無料。県労働福祉会館 ☎088（602）0532。

★徳島トーストマスターズクラブ例会 16日13時半～16時、徳島駅クレメントプラザ6階の県国際交流協会。英語スピーチで世界に通じる話し方を楽しく学ぶ。外国人も歓迎。参加無料。佐藤さん ☎090（3782）019

純一・玲さん
藍住町富吉

左津前 美桜ちゃん
長女 2015年
3月22日生まれ

大きな

○チラシの作成・配布

2015 地域ふれあい in わくびあ フェスタ

『地域の支え合い』『家族の絆』をテーマとして、木工教室、陶芸教室、映画上映会、フリーマーケットなどのイベントを行います。

2015年 8.16 (日)
13:00～17:00

子ども映画会
『劇場版のび太の冒険 大冒険』
14:30～

親子陶芸教室 13:00～
親子木工教室 13:00～

出店コーナー
絵手紙教室 13:00～
親子の無料撮影会 13:00～

参加無料

主催 一般社団法人徳島県労働福祉会館
〒770-0840 徳島市船場町2丁目20-10 TEL 089-822-0212 FAX 089-822-0200

○ホームページに告知掲載

<http://workpia-tokushima.jp/> WHAT'S NEW 内

4. アンケートの実施

『2015 地域ふれあいフェスタinわーくぴあ』 参加者アンケート結果

回答者数22人／配布数80人

【1】各イベントはどうでしたか？

	①とても良かった	②まあまあ良かった	③ふつう	④少しつまらなかった	⑤つまらなかった	無回答	合計
こども映画会	18	1	0	0	0	3	22
陶芸教室	13	1	0	0	0	8	22
木工教室	14	1	0	0	0	7	22
絵手紙教室	15	4	1	0	0	2	22
親子撮影会	16	0	3	0	0	3	22
出店コーナー(飲料・軽食・小物販売など)	9	6	4	1	0	2	22

【2】日程はどうでしたか？

	①7月下旬～8月上旬が良い	②今回の日程でちょうど良い	③その他	無回答	合計
-	3	19	0	0	22

【3】時間帯はどうでしたか？

	①10時～14時くらいが良い	②今回の時間帯でちょうど良い	③その他	無回答	合計
-	3	18	0	1	22

【4】自由意見欄

孫たちがとても喜んで、毎年楽しみにしています。手芸やバッグ作りも楽しいと思います。					
楽しくてすぐ終わったので、もう少し長い時間してくれると嬉しいです。					
木工教室、先着30名と知らなかったなので、できなかった。					
いろんな体験ができて良かった。					
夏休みの思い出ができました。また来年も楽しみにしています。					
陶芸の予約がいっぱいで、キャンセル待ちになった。予約ができる旨、用紙で教えてほしかった。					
いろんな体験ができて楽しかった。					

I 事業報告

1. 事業報告

(1) 会館運営について

- ・一般社団法人への移行及び第2期中期経営計画の2年目である本年度は、一般社団法人としての法人運営を基本として、経営の健全化と安定化に努めました。
- ・NPO法人フードバンクとくしま及びNPO法人クレールが新規に入居し、全国一般労働組合及び徳島県日中友好協会が退去しました。
- ・会館設備の変圧器、コンデンサー等について中間貯蔵処理事業者JESCOと高濃度PCB廃棄物の処理委託契約を締結し、また日本通運と収集運搬契約を締結し、処理を進めています。
- ・消防訓練、防災セミナーを実施しました。また「防災ラジオ」「東京防災(冊子)」を購入しました。

(2) 管理業務委託について

- ・会館運営を効率的に行うため管理業務をNPO法人「壮生」に委託し、シニアのワークシェアリングによる働く場作りによる会館運営を行いました。
- ・わーくぴあ運営に関するさまざまな課題に対しては、定期協議の他、随時運営事務局と連携し、日常的な事務局段階での話し合いで対応しました。
- ・業務委託契約に基づく適正な業務執行について、未実施項目の達成状況のに対する回答を要求し、改善を図りました。

(3) 法人運営について

- ・本年度は 1,910,000 円の会費収入がありました。
- ・労金管理職協が退会しました。
- ・将来の新館建設を展望した検討委員会を設置し、第 1 回委員会を開催しました。
- ・2013 年度臨時総会の決議に基づく公益目的支出計画に従い、行政庁の監督のもと実施事業を行いました(※1)。公益目的財産額は、124,916,879 円(算定日 2014 年 3 月 31 日)であり、当該事業年度の公益目的支出の額は 3,439,862 円(※2)、当該事業年度の実施事業収入の額は 0 円、当該事業年度の公益目的収支差額は 5,994,580 円、当該事業年度末日の公益目的財産残額は 118,922,299 円となりました。※1 実施事業の状況は別冊報告書を参照ください。 ※2 支出明細は 2015 年度正味財産増減計算書内訳表を参照ください。
- ・マイナンバー制度について、実務者研修に参加するなど、内閣府のガイドラインに基づき対応を進めた。
- ・「徳島県における自殺予防の取組の相互協力に関する協定」の締結を行いました。

(4) 財務状況について

- ・本年度の総資産は 226,831,634 円となりました。

- ・収入は、54,337,780 円、うち事業収入 52,273,926 円、事業外収入 2,063,854 円となりました。
- ・支出は、7,812,853 円の減価償却、法人税等充当金 1,069,500 円を含めて 49,539,388 円となりました。
- ・借入金は、徳島県より 7,000,000 円、徳島市より 7,000,000 円がありますが、今年度、徳島県に 7,000,000 円、徳島市に 3,500,000 円をそれぞれ返済しました。そして徳島県より新たに 3,500,000 円の借入を行いました。また四国労働金庫から 41,256,491 円を借り入れしていますが 2,980,372 円の返済を行いました。その結果、総借入残高は 45,276,119 円となりました。
- ・会員数は、75 会員であります。

(5) 労働者福祉運動の支援について

- ・労福協を中心として実施された様々な労働者福祉事業に協力するとともに、積極的に参加しました。
- ・シニアライフを支援するNPO法人「壮生」の活動として、健康セミナー、パソコン講座等を行いました。
- ・障害者の就労支援として、駐車場管理を引き続きNPO法人「徳島県腎臓病協議会」へ再委託しております。
- ・障害者の自立支援を行うNPO法人「Creer」の活動として、引き続きお弁当の館内販売を行っております。
- ・就職に困難な障害のある人のための就労継続支援事業などを行っているNPO法人「いのちのさと」による別館玄関フロアにおける野菜・果物・加工食品等の販売を開始しました。
- ・知的障害児・者の自立を支援する学校法人光の村学園が運営する『光の村南風堂』の会館駐車場に於けるお菓子・パン等の販売を始めました。
- ・地域のために活動する NPO 法人や市民活動団体を支えるための「ハートフルゆめ基金とくしま」に寄付しました。

(6) 公益目的事業について

・社会運動資料センター事業

公益目的支出計画に基づく事業として社会運動資料センター事業を実施しました。賀川豊彦をはじめとする社会運動に関する資料、とりわけ団塊の世代の書籍・資料の収集を図り、同時に企画展、公開講座等を開催しました。

具体的には、NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会などと連携して社会運動資料センターの運営委員会を設置し、センターの運営や資料の選別については専門家の助言を得て行いました。収集した資料は室内に展示し、一般の方誰でも閲覧可能としました。公開講座およびパネル展は、チラシを作成して館内に掲示、またホームページや新聞に告知掲載し、セミナーの講師には専門家を招いて講演していただきました。[別冊：資料集]

・地域ふれあいフェスタ事業

公益目的支出計画に基づく事業として地域ふれあいフェスタ事業を行いました。『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、親子陶芸教室、親子木工教室、こども映画会、絵手紙教室、親子の無料撮影会、飲料・軽食・小物販売コーナーなどのイベントを行いました。広く一般の方が参加可能とし、参加無料としました。広報については、地域へのチラシ配布、新聞紙面への広告、ホームページに掲載等、広く周知を行いました。[別冊:資料集]

3. 事業記録

日	時	内 容	備 考
6	12	第2回通常総会(通算 45 回)	502 号室
	"	とくしま社会運動資料センター第2回運営委員会 ※	別館305号室
	15	労福協第5回会員総会	502 号室
	17	テレビ共同受信アンテナ配線取替工事、電波検査	本館屋上
	23	『輝いた阿波の女性たちⅠⅡⅢ』編集委員会 ※	303 号室
	24	別館1F改装工事打ち合わせ(クレール)	303 号室
	25	「公益目的支出計画実施報告書」提出 ※	県労働雇用課、県評価検査課
	27	会館事務局の移転作業	105 号室、206 号室
	30	法人(役員)登記手続き	山岡司法書士
7	2	地域ふれあいフェスタ企画会議(1 回目) ※	303 号室
	3	マイナンバー制度の説明会(金剛)	川内町
	8	普通救命講習(AED)	502 号室
	9	別館1F改装工事打ち合わせ(クレール)	ネットワーク理事長室
	18	第3回公開講座『連続講座 輝いた阿波の女性たちⅡ』 ※	別館5階大ホール
	27	別館1F改装工事打ち合わせ(クレール)	303 号室
	"	西部ブロック会館協議会第 14-02 回幹事会	松山市
	30	第 13 回わーくびあ徳島の運営に関する定期協議	303 号室
8	7	地域ふれあいフェスタ企画会議(2 回目) ※	303 号室
	9	アジア・スワニー労組闘争記録上映会	ホテル千秋閣
	10	県民と働く者のとくしまフェスタ 2015 実行委員会	502 号室
	"	エアコン取替工事(みづほ電気)	303 号室
	16	2015 地域ふれあいフェスタinわーくびあ ※	別館5階大ホール
	20	第 23 回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議	全労済徳島県本部
	28	西部会館協第2回幹事会	松山市 :不参加
	29	「死線を越えて」賀川豊彦の平和論	鳴門市賀川豊彦記念館
9	1	県民と働く者のとくしまフェスタ 2015 第2回実行委員会	502 号室
	2	労福協第2回理事会	502 号室
	6	いのちとくらし・平和を守る女性集会	別館5階大ホール
	10	全国会館協第 45 回定期総会	守山市 :不参加
	12	安全保障関連法案の廃案を求める 9・12 徳島県民大集会	藍場浜公園
	"	フードバンクとくしま農園開所式	徳島市
	19	建物及び設備等の維持管理 実地調査	本館、別館
	24	NPO 法人クレールの入居及び作業開始	別館1F
	25	防災講座	別館5階大ホール

	28	特別企画『吉野作造と賀川豊彦』パネル展（～10/9）※	別館5階大ホール
	30	とくしま社会運動資料センター第3回運営委員会 ※	302号室
10	3	第4回公開講座『連続講座 輝いた阿波の女性たちⅢ』※	別館5階大ホール
	7	西部会館協第28回定期総会	松山市
	20	「徳島県における自殺予防の取組の相互協力に関する協定」締結式	徳島県庁
	26	庫倫旗第一中学校「歓迎と交流の夕べ」	阿波観光ホテル
	28	第2回理事会	502号室
	31	県民と働く者のとくしまフェスタ2015 開会式典	別館5階大ホール
	〃	第8回わーくびあフェスタ	〃
	〃	Creerオープン記念食事会	別館1階フロア
11	9	平成27年国勢調査審査会場の借上げ（～12/28）	別館5階大ホール
	10	フロン排出抑制法説明会	徳島県職員会館
	12	西部労福協第34回研究集会	米子市
	23	ワーククルー検定2015・秋（初級）	ろうきんホール
	24	第23回労働者福祉メーデー	徳島グランヴィリオホテル
	26	労福協第3回理事会	502号室
12	2	第14回わーくびあ徳島の運営に関する定期協議	303号室
	3	エコキャップ運動の今後についての事務局会議	労福協会議室
	9	社会貢献特別ツアー	アンコールワット・ハノイ
	10	徳島県自殺予防活動期間(40団体)連携パワーアップ事業	アスティとくしま
	18	徳島市長に対する支援要請	徳島市役所
	21	徳島県知事に対する支援要請	徳島県庁
	25	Creerクリスマス会	502号室
	28	仕事納め	法人事務局
	31	年末年始休館日（～3日）	全館
1	4	仕事始め	法人事務局
	6	連合徳島新年旗開き	阿波観光ホテル
	19	消防訓練	502号室
	29	第3回理事会	502号室
	〃	第24回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議	全労済会議室
2	8	第4回パネル展『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動』※	別館大ホール
	9	第5回公開講座『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動Ⅰ』※	別館大ホール
	13	飯泉知事と働く女性の懇親会	徳島グランヴィリオホテル
	16	連合徳島執行委員会	502号室
	26	徳島県自殺予防活動機関(40団体)連携パワーアップ事業	徳島グランヴィリオホテル
3	3	わーくウェル打ち合わせ	労福協ミーティングルーム
	〃	第6回公開講座『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動Ⅱ』※	別館大ホール
	10	はぐくみ支援セミナー	ふれあい健康館2F
	11	公益法人会計研修会(県)	県庁11F
	12	会員1万人突破記念と感謝の集い	徳島グランヴィリオホテル
	〃	第7回職場対抗駅伝<<R&Pcup>>	田宮陸上競技場
	〃	「自殺対策強化月間(3月)における街頭演説	フジグラン北島
	13	2016Syuntoふれあいファミリーデー	あすたむらんど徳島
	14	女性活躍推進のためのトップセミナー	徳島グランヴィリオホテル
	16	ネットワーク第11回理事会	ネットワーク会議室
	〃	第4回理事会	502号室
	〃	労福協第4回理事会	502号室

	28	第1回新館建設検討委員会	502号室
4	21	中村昌宏徳島文理大学教授の退官慰労会	阿波観光ホテル
	26	熊本地震救援への募金活動(~28日)	徳島駅前
5	12	わーくウェル打ち合わせ	労福協ミーティングルーム
	19	会計監査	303号室
	〃	記念講演会「賀川豊彦を継承するとは」	賀川豊彦記念館 2F
	30	わーくウェル打ち合わせ	労福協ミーティングルーム
	31	労福協第5回理事会	502号室
	〃	第5回理事会	502号室

※は公益目的事業

以上